

技・家だより

令和元年度 第2号 通巻175号
発行
愛媛県教育研究協議会技術・家庭委員会

『指導と評価の一体化』のための学習評価について

愛媛県教育委員会義務教育課 指導主事 関野幸恵

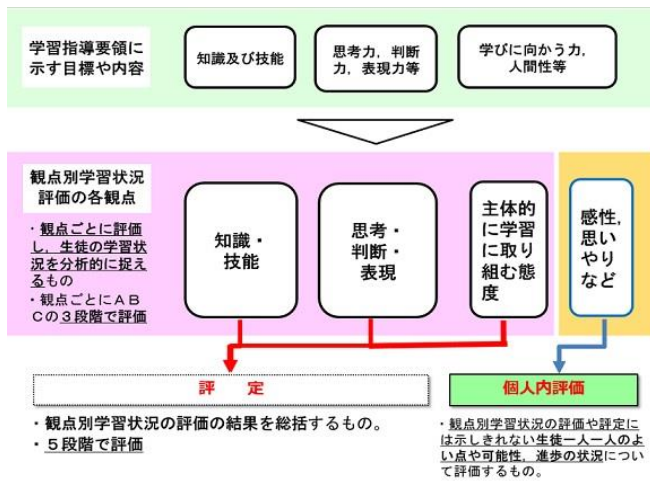
1 学習評価の基本的な考え方

中学校新学習指導要領の総則「第3 教育課程の実施と学習評価」には、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うと同時に、評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価することが示されています。そして、学習評価の改善の基本的な方向性として、

- (1) 生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- (2) 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- (3) これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくことという3つが挙げられています。

2 学習評価の基本構造

今回、新学習指導要領の目標及び内容が資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、観点別学習状況の評価も「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されました。次の図は、三つの資質・能力と観点別学習状況評価の各観点との関係を表したものです。



3 評価規準の作り方

国立教育政策所から出された「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(案)」には、評価規準の作り方が説明されています。まず、新学習指導要領に示された各教科等の目標を基にして、評価の観点の趣旨が明確にされています。中学校の家庭分野は次のとおりです。

【中学校学習指導要領 第2章 第8節「〔家庭分野〕1 目標」】

知識及び技能	思考力、表現力、判断力等	学びに向かう力、人間性等
家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【改善等通知 家庭・技術・家庭 (2) 分習期の詳細の観点の趣旨 (中学校技術・家庭 (家庭分野))】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

これを踏まえ、次に「内容のまとまりごとの評価規準」を作成します。内容のまとまりとは、学習指導要領の「2 内容」に示されている項目、家庭分野では、A(1)~(4)、B(1)~(7)、C(1)~(3)のことです。これらの項目ごとに作成した観点別の評価規準を「内容のまとまりごとの評価規準」といいます。各項目を構成している指導事項ア（「知識及び技能」に関する内容）と指導事項イ（「思考力、判断力、表現力等」に関する内容）は、育成を目指す資質・能力を示しており、そのまま学習指導の目標となるものです。ですから、指導事項ア、イの文末を「～すること」から「～している」と変換するだけで、目標に沿って指導したことが身に付いているかを評価するための、まさに指導と一体化した評価規準を作成することができるのです。ただし、内容の記載がされていない「主体的に学習に取り組む態度」に関しては、教科や分野別の「1 目標」や改善等通知別紙4「各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨」に示された記述を用いて作成する必要があります。これらの手順で作成した「内容のまとまりごとの評価規準(例)」が、次の表です。

【学習指導要領の家庭分野「2 内容」及び「内容のまとまりごとの評価規準(例)」】

例：内容「B 衣食住の生活」(4) 衣服の選択と手入れ

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
学習指導要領	ア 次のような知識及び技能を身に付けること (ア) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 (イ) 衣服の計画的な活用必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。	イ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	※内容には、学びに向かう力、人間性等について示されていないことから、家庭分野の目標③を参考にすること。
2 内容	・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできること。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ◎大学…指導項目の名称

4 指導と評価の一体化に向けて

令和3年度の新学習指導要領全面実施、また本県で開催される中四国大会に向けて、より家庭分野の学習活動に即した題材ごとの評価規準の作成が急がれるところです。それを拠り所として指導と評価が一体となった授業が全ての教室で展開され、子供たちにとってよく分かる質の高い学習が行われるようにしていただきたいと思えます。

なお、題材ごとの評価規準を作成する際に参考となる「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(案)」は、愛媛県教育委員会のHPに掲載されていますので御参照下さい。

<参考資料> いずれも文部科学省
 ・「学習評価の在り方 ハンドブック」(R1.6)
 ・「小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)」(H31.3)

夏季実技研修会

技術分野

【西条管区】

「夏季実技研修会に参加して」

四国中央市立三島西中学校 井ノ口 光彦

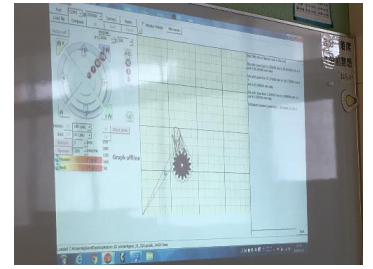
7月31日(水)に、四国中央市立川之江北中学校で夏季実技研修会を開催した。講師として、前年度中国・四国地区技術・家庭科研究大会香川大会で、B(当時):エネルギー変換に関する技術の内容で提案発表を行った香川県三豊市立高瀬中学校の石川謹章教諭をお迎えして、新学習指導要領におけるC:エネルギー変換の技術についての研修を行った。西条管区は、令和3年度の中国・四国地区技術・家庭科研究大会愛媛大会でC:エネルギー変換の技術の提案発表を行う。西条管区の東に隣接している香川県の三豊地区が昨年度の平成30年度の香川大会においてエネルギー変換に関する技術の提案発表を行っており、研究の概要や発表に向けての研究の進め方などのお話をいただいた。中国・四国地区の研究の流れを引き継ぎ、他県の技術・家庭科の教育活動を知る貴重な機会であった。香川大会は、新学習指導要領への移行期間一年目の大会で、参考となる取組がいろいろとみられた。今回、情報交換を行い情報を共有できたこと、そして、隣県の技術・家庭科の研究会とのネットワークを築けたことは、研究推進と新学習指導要領での技術・家庭科の授業を創りあげていくうえでもとても意義があったと考える。来年度以降の夏季実技研修会でも、このような取組を考えていきたい。

【今治管区】

「夏季実技研修会に参加して」

今治市立北郷中学校 山本 浩之

7月31日、立花中学校で夏季実技研修会を行いました。午前は、今治市教科等研究大会に向けて、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」の授業研究として、日本語プログラミング言語(プロデル)を活用した研修に取り組みました。研修では、実際に火災報知器のプログラムを制作し、プロデルの使い方を理解したり、授業展開について検討したりしました。



午後は、愛媛大学の森先生から3DCADの実技研修と3Dプリンタの紹介をしていただき、材料と加工の技術に関して新しい視点で考えを深めることができました。また、3DCADで制作したギアを3Dプリンタで制作する際には、参加者が目を輝かせて出来上がる様子を見ていました。

本日の研修で新しく学んだことを今後の授業実践に生かしていきたいと思えます。

【松山管区】

「夏季実技研修会に参加して」

東温市立重信中学校 渡辺 尚彦

7月29日に椿中学校にて、松山管区も夏季実技研修会を行いました。

松山管区では、来る2021年度に行われる技術・家庭科中四国大会にむけての話し合いが行われました。まずは、研究主題の説明があり、年間指導計画、指導事項関連表(小中系統表を含む)の作成、学習評価についての話がありました。その後、各先生方がそれぞれのグループに分かれて、本番にむけての役割分担の決定や実態把握のためのアンケート作成、授業案の考察などを行いました。

また、後半は今治市立玉川中学校の斧純司先生をお招きして「プロデル デザイナ」を用いた双方向コンテンツについての実習を行いました。この分野はどの先生方も悩んでいるところだけに熱心に耳を傾けていました。



【 八幡浜・宇和島管区 】

「夏季実技研修会に参加して」

宇和島市立吉田中学校 工藤 峻

7月30日に、城南中学校にて、八幡浜・宇和島の2管区合同で夏季実技研修会を行いました。

午前中は、講師として大村教材様を招き、「オリジナル折り畳み棚」を製作しました。他の先生方と協力しながら作業を行いました。生徒がどのような気持ちで製作を行っているのかを考える時間となりました。また、道具の使い方や作業の手順を生徒に分かりやすく伝えることの大切さを再確認することができました。



午後は、講師として山崎教育システム株式会社様を招き、新しく出されたプログラミング教材の教材研究を行いました。授業を具体的にどのように進めていくのかを考えることができました。また、生徒に興味を持たせるために、教師自身がプログラミングの仕組みを把握し、基本的な用語を理解しておく必要があると感じました。

最後に、宇和島管区で、中四国大会に向けた話し合いを行いました。

今回学んだことを今後の実践に生かしていきたいと思えます。

家庭分野

【 西条管区 】

「夏季実技研修会」

四国中央市立三島南中学校 高石真由美

8月8日に四国中央市立三島東中学校で、夏季実技研修会が行われました。午前中は、栄養教諭の西厚子先生を講師に迎え、新学習指導要領で扱われる蒸し料理を含めた調理実習を行いました。蒸し野菜、蒸しパンなど、手軽で、栄養価をそのまま残す調理を行いました。蒸し料理は野菜本来の味を楽しめることができ、もっと手軽に家庭で調理して欲しいと思えました。



また、午後からは中四国大会の話し合いや研究局の先生からお話をいただき、来年度からの研究に向けて有意義な時間を持つことができました。今後も、協力して研究を進めたいと思えます。

【 今治管区 】

「夏季実技研修会に参加して」

今治市立北郷中学校 田坂 綾子

8月1日に今治西中学校にて、夏季実技研修会が行われました。午前中は愛媛県消費生活センターから講師を招き、食品ロスに関する内容を中心とした講話や調理実習を行いました。だしをとった後の昆布・いりこ・鰹節からちょっとしたおやつやおつまみが出来上がりました。調理しながら、こんな食材を入れたらどうだろう、こう調理した方がおいしいのではと、いろいろ意見を出し合いながらの楽しい実習でした。匂いに誘われ部活帰りの生徒が興味深々で調理室をのぞいていきました。「捨てるはずだった食材が少しの手間や工夫でおいしく食べられるようになる」「食材を大切に使う」子どもたちが体験を通して身に付けてほしいことだと思いました。午後からは、中・四国大会に向けて、研究の方向性や役割分担について確認を行いました。今後も管内県下で協力し、お互いに研修を深めていきたいと思う会になりました。



【 松山管区 】

「夏季実技研修会に参加して」

東温市立重信中学校 片岡 祐子

7月29日、椿中学校において、松山管区の夏季実技研修会を行ないました。

松山管区では、来る令和3年度の技術・家庭科中四国大会に向けて、昨年作成した年間指導計画の確認、小中関連表を含む指導関連事項の作成や振り返りシート、パフォーマンス課題の作成、ポートフォリオ評価の研究などについて各グループに分かれて検討しました。



また、松山市教育センターの指導主事山口暁美先生に指導助言をいただきながら、今年度の研究授業についても話し合いを行ないました。参加者は本部の提案事項を熱心に聞き、自分の役割分担などの確認を行っていました。

【 八 幡 浜 管 区 】

「夏季実技研修会に参加して」

大洲市立長浜中学校 吉良 美佐子

夏季実技研修会では、【アンティークなずな】の店主、川田美恵さんを講師にお招きして、和服の基礎講座を開いた。専門の先生から和服の構成や種類、季節や場面に応じた着物選びなどについて詳しく説明をしていただいた。また、浴衣の着付けにおいては、着崩れしにくく自分で着装できる方法を教えていただき、参加者全員が自分で浴衣を着ることができた。



【 宇 和 島 管 区 】

「持ち寄って生み出す喜びを」

愛南町立城辺中学校 大黒 智子

7月29日(月)、スタイリストの松田弘子さんをお招きし、「ファッションコーディネート基礎」をテーマに、城南中学校にて研修会を行いました。松田さんは宇和島市出身で、現在は松山市に拠点を置き、コマーシャルや広告等様々な分野で活躍されています。参加者は家で眠っている衣服等を持ち寄り、アイデアを出し合って製作に取り組みました。製作に当たって松田さんは、共に考え認める言葉を私たちに掛けてくださいました。また、アイデアを形にすることへの、意欲を高めるグッズや方法を紹介してくださいました。おかげで、私たちは個性や工夫を生かしたものの作りの楽しさや、再利用の素晴らしさ、可能性を実感することができました。人と交わり共に学ぶことは、新学習指導要領の内容を理解し、魅力的な教材を開発することにつながるのだと思いました。今回製作したものと過ごす日々が楽しみです。



『第20回 創造アイデアロボットコンテスト』

愛媛県大会』

令和元年11月17日(日)愛媛大学教育学部附属中学校体育館にて、第20回創造アイデアロボットコンテスト愛媛県大会が開催されました。

各部門に分かれて白熱した試合が繰り広げられました。どの出場チームも、工夫あるロボットを持ち寄り、緊張感ある中で一生懸命に操縦をしていました。

【各部門の結果】

【基礎部門】	チーム名	学校名
優勝	アルティメット冷や奴	附属中学校
準優勝	タマミンズ	附属中学校
特別賞	済美平成1号	済美平成中等教育学校
特別賞	八代5号	八代中学校
奨励賞	命の父	附属中学校
奨励賞	テングザル	附属中学校

【活用部門】	チーム名	学校名
優勝	アザラたん	附属中学校
準優勝	Japanese	附属中学校
特別賞	問題無児	附属中学校
特別賞	チームAで合ってますか	附属中学校
特別賞	UMA-β	真穴中学校
奨励賞	ふうたん	附属中学校
奨励賞	Robo blocks	附属中学校

【応用部門】	チーム名	学校名
優勝	超平和バスターズ	伊方中学校
準優勝	遠心分離	附属中学校
特別賞	経済特区	港南中学校
特別賞	かぐや	附属中学校
特別賞	すべえずしゃとる	附属中学校
特別賞	港南事変	港南中学校
奨励賞	漢天夢堂～負債返済の旅～	港南中学校

【中四国特別部門】	チーム名	学校名
優勝	UMA-θ	真穴中学校
準優勝	みかん	附属中学校

【中四国特別部門 映像部門】	チーム名	学校名
奨励賞	UMA-θ	真穴中学校

【ロボコン大賞】	チーム名	学校名
	アザラたん	附属中学校